

アンボンで何が裁かれたか (1990)

BLOOD OATH
PRISONERS OF THE SUN

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 オーストラリア

色彩 Color

時間 108分

初公開日 1991/04/05

公開情報 WB

【キャッチコピー】

ヤシの林は見つめていた 真実のすべてを…。

【解説】

太平洋戦争終結の1945年12月。オーストラリア陸軍法務部は、南太平洋における日本軍の戦犯に対する告訴および裁判の任務を負っていた。アンボン捕虜収容所の事件を扱う検事、クーパー大尉は、捕虜虐待と殺害の罪で91人の日本人を裁かねばならなかった……。オーストラリア北部、ダーウィンから北へ1000キロに位置するインドネシア諸島アンボン島。41年12月、ノーザンテリトリーを防衛する為、1150名の屈強のオーストラリア兵がオランダ領アンボンに配置された。翌42年1月末、35000人の日本軍が上陸。わずか6日間でアンボン島を陥落させてしまう。捕虜となったオーストラリア兵のうち、532名がアンボン捕虜収容所に収容された。3年後、かろうじて生き残ったのは、わずか132名だった。赤道近くの灼熱の太陽の下、厳しい自然と戦争という劣悪な状況の中で、一体何が起こったのか？ この作品は、その疑問を事実に基づき描いた人間ドラマである。しかし本作は、どこにでもあるような、いわゆる反戦映画とは一線を画しており、極限状態に置かれた、日本兵、オーストラリア兵達の、葛藤、心理描写、その人間模様を克明に描く事により、重厚で見応えのある、第一級の人間ドラマに仕上がっている。そしてそこには、観る者を引きつける娯楽的要素がキチンと織り込まれ、そのドラマを観ている内に、背景に戦争問題といったものが実に説得力を持って浮かび上がってくるという構造になっている。

【クレジット】

監督	スティーヴン・ウォレス	Stephen Wallace
製作	チャールズ・ウォーターストリート	Charles Waterstreet
	デニス・ホイットバーン	Denis Whitburn
	ブライアン・A・ウィリアムズ	Brian A. Williams
製作総指揮	グラハム・バーク	Graham Burke
	グレッフ・コート	
	ジョン・ターノフ	John Tarnoff
脚本	デニス・ホイットバーン	Denis Whitburn
	ブライアン・A・ウィリアムズ	Brian A. Williams
撮影	ラッセル・ボイド	Russell Boyd
音楽	デヴィッド・マクヒュー	David McHugh
出演	ブライアン・ブラウン	Bryan Brown
	ジョージ・タケイ	George Takei
	ジェイソン・ドノヴァン	Jason Donovan

塩谷俊

渡辺哲

藤田宗久

デボラ・アンガー

テリー・オクィン

ジョン・バック

ジョン・ポルソン

ラッセル・クロウ

ニコラス・イーディ

ドナル・ギブソン

Deborah Unger

Terry O'Quinn

John Bach

John Polson

Russell Crowe

Nicholas Eadie

Donal Gibson